平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名　新電元工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6844　URL　http://www.shindengen.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 森川　雅人
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室　企画部長　(氏名) 千葉　昌治　TEL 03-3279-4431

四半期報告書提出予定日　平成23年11月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　証券アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	42,277	△6.6	3,582	△16.9	2,527	△25.4	1,786	△27.8
23年3月期第2四半期	45,271	34.8	4,311	―	3,387	―	2,475	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　196百万円　(△88.3%)　23年3月期第2四半期　1,679百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	16.49	―
23年3月期第2四半期	23.16	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	104,288	35,472	33.5
23年3月期	103,336	35,714	34.1

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　34,960百万円　23年3月期　35,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	2.50	2.50
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	3.50	3.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当について記載しております。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「5.種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,900	△1.6	5,700	△22.2	4,200	△31.1	3,300	△27.9	30.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	103,388,848 株	23年3月期	103,388,848 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	330,096 株	23年3月期	325,728 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	103,060,910 株	23年3月期2Q	103,071,644 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の予想とは異なる結果となる可能性があることにご留意ください。なお、業績予想に関する事項につきましては、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

5. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期　末	合　計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	―	0.00	―	15.40	15.40
24年３月期	―	0.00			
24年３月期（予想）			―	15.40	15.40

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により企業の生産活動が落ち込んだものの、サプライチェーンの復旧とともに持ち直しの動きが見られるようになりました。一方で欧米の財政危機による景気後退懸念などを背景に円高が進んだほか、新興国における物価上昇や金融引締めの動きなどから、成長に減速感が見られるなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境は、成長の続くアジア二輪車市場がさらに拡大基調を強め、自動車市場も急回復いたしました。その一方で、デジタル家電市場などを中心に電子部品需要が総じて低迷、震災の影響を受けた国内通信市場も弱含みで推移いたしました。

こうした結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、422億77百万円（前年同期比6.6%減）となりました。利益面においては、引き続き費用抑制や生産性向上に努めたものの減収や円高の影響を受け、営業利益は35億82百万円（前年同期比16.9%減）、経常利益は25億27百万円（前年同期比25.4%減）、四半期純利益は17億86百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント間の取引については相殺消去して記載しております。

①デバイス事業

デバイス事業の売上高は165億37百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益は28億25百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

自動車市場においては、小型面実装ダイオードなどの需要が復調し、前年同期を上回る水準まで回復いたしました。その一方で、比較的堅調に推移していた産業機器市場向けの大型整流ダイオード需要にブレーキが掛かったほか、景気減速を受けてデジタル家電や照明市場などが低迷、高速整流ダイオードやＩＣなどの需要も振るわず、売上高、利益ともに減少いたしました。

②モジュール事業

モジュール事業の売上高は191億33百万円（前年同期比19.1%増）、営業利益は18億７百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

インドネシアやインド、ベトナムなど成長を持続するアジア二輪車市場において、主力製品であるレギュレータやＣＤＩが拡大したほか、汎用エンジン市場においても発電機用インバータ需要が震災後に急増し、増収となりました。利益面においては、モビリティ・新エネルギー分野の開発投資が引続き先行したものの、二輪車や汎用エンジン市場での増収を受け、増益となりました。

③システム事業

システム事業の売上高は、44億32百万円（前年同期比40.5%減）、営業損益は75百万円の損失となりました。

国内通信市場は、震災の影響により設備投資が細り、基幹系の整流器および移動体基地局向け電源需要が低調だったほか、情報市場においても競争が激化したことでストレージ装置用電源が苦戦を強いられました。加えて、構造改革で取り組んできた一部製品の絞込みの影響もあって、売上高、利益ともに減少いたしました。

④その他

アクチュエータ製品は、中国の建設機械市場向けに需要が鈍化したものの、北米や国内市場で回復するなど堅調に推移いたしました。しかしながら、前期に一部の連結子会社を売却した影響などにより、売上高は21億74百万円（前年同期比27.0%減）と減少いたしました。一方、営業利益は２億52百万円（前年同期比5.5%増）と増益を確保いたしました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は1,042億88百万円（前期末比９億52百万円増）となりました。これは、主に現金及び預金が増加したことや、たな卸資産が増加したことなどによるものであります。

また、負債は688億15百万円（前期末比11億93百万円増）となりました。これは、主に長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は354億72百万円（前期末比２億41百万円減）となり、自己資本比率は33.5％となりました。

以上の結果、１株当たり純資産は314円13銭となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境は、半導体需要で依然として先行きが不透明であるものの、国内通信市場は回復基調を辿り、インドネシアやベトナムなどを中心にアジア二輪車市場も概ね堅調に推移する見通しです。しかしながら、タイで発生している洪水の影響を現段階で合理的に算定することが困難であることから、平成23年６月23日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更しておりません。今後、状況が明らかになり次第、速やかに開示してまいります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（追加情報）

・会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,178	31,198
受取手形及び売掛金	20,554	20,720
商品及び製品	5,391	5,398
仕掛品	3,706	4,284
原材料及び貯蔵品	7,388	7,507
繰延税金資産	228	239
その他	1,830	1,276
貸倒引当金	△14	△22
流動資産合計	67,263	70,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,701	8,424
機械装置及び運搬具（純額）	5,787	5,648
土地	4,867	4,865
その他（純額）	3,193	3,095
有形固定資産合計	22,550	22,034
無形固定資産		
ソフトウエア	379	352
その他	286	280
無形固定資産合計	666	632
投資その他の資産		
投資有価証券	9,971	7,874
繰延税金資産	1,419	1,477
その他	1,499	1,706
貸倒引当金	△34	△42
投資その他の資産合計	12,855	11,016
固定資産合計	36,072	33,684
資産合計	103,336	104,288

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,607	15,257
短期借入金	4,753	4,778
1年内償還予定の社債	―	5,200
未払法人税等	288	259
繰延税金負債	―	3
賞与引当金	582	662
その他	4,398	4,269
流動負債合計	25,629	30,431
固定負債		
社債	12,000	6,800
長期借入金	19,410	21,115
退職給付引当金	8,172	8,778
役員退職慰労引当金	31	34
資産除去債務	145	143
繰延税金負債	454	5
その他	1,777	1,507
固定負債合計	41,991	38,384
負債合計	67,621	68,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,823	17,823
資本剰余金	10,336	10,336
利益剰余金	8,111	9,466
自己株式	△110	△111
株主資本合計	36,161	37,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	666	△854
為替換算調整勘定	△1,579	△1,698
その他の包括利益累計額合計	△912	△2,553
少数株主持分	465	512
純資産合計	35,714	35,472
負債純資産合計	103,336	104,288

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	45,271	42,277
売上原価	35,486	33,642
売上総利益	9,784	8,635
販売費及び一般管理費	5,473	5,052
営業利益	4,311	3,582
営業外収益		
受取利息	33	36
受取配当金	87	100
受取ロイヤリティー	77	85
その他	213	173
営業外収益合計	412	396
営業外費用		
支払利息	367	380
為替差損	386	570
退職給付会計基準変更時差異の処理額	309	309
その他	271	191
営業外費用合計	1,336	1,451
経常利益	3,387	2,527
特別損失		
投資有価証券評価損	59	57
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	118	－
特別損失合計	178	57
税金等調整前四半期純利益	3,209	2,469
法人税、住民税及び事業税	746	699
法人税等調整額	△55	△66
法人税等合計	690	632
少数株主損益調整前四半期純利益	2,518	1,837
少数株主利益	43	50
四半期純利益	2,475	1,786
少数株主利益	43	50
少数株主損益調整前四半期純利益	2,518	1,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△638	△1,521
為替換算調整勘定	△133	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△66	△123
その他の包括利益合計	△839	△1,640
四半期包括利益	1,679	196
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,636	146
少数株主に係る四半期包括利益	43	50

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）３
	デバイス事業	モジュール事業	システム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,774	16,066	7,452	42,292	2,979	45,271	－	45,271
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,982	31	－	2,014	－	2,014	△2,014	－
計	20,756	16,098	7,452	44,307	2,979	47,286	△2,014	45,271
セグメント利益	3,058	1,500	633	5,192	239	5,431	△1,120	4,311

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソレノイド事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,120百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）３
	デバイス事業	モジュール事業	システム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,537	19,133	4,432	40,103	2,174	42,277	－	42,277
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,188	29	－	2,217	－	2,217	△2,217	－
計	18,726	19,162	4,432	42,320	2,174	44,495	△2,217	42,277
セグメント利益又は損失（△）	2,825	1,807	△75	4,557	252	4,809	△1,227	3,582

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソレノイド事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△1,227百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。